

## メキシコ政治情勢（10月）

### 〔概要〕

### 【内政】

- 2日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表した。ロペス・オブラドール大統領の支持率は、58%（前月比+1ポイント）。
- 4日付当地エル・ユニベルサル紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表した。シェインバウム氏（与党連合）が50%、ガルベス上院議員（野党連合）が20%、ガルシア・ヌエボレオン州知事（MC）が7%、ベラステギ氏（独立候補）が4%の支持率を得た。
- 16日、当地エル・ユニベルサル紙は、2024年メキシコ市長選挙に向けた世論調査結果を発表した。与党連合のメキシコ市長選挙立候補者として好ましい人物として、ガルシア氏（元メキシコ市治安長官）が39%、ブルガダ氏（元イスタパラパ区長）が27%、ロペス・ガテル氏（元保健次官）が16%、ボイ長官（メキシコ市環境・地域計画長官）が4%の支持を得た。野党連合のメキシコ市長選挙立候補者として、サバラ下院議員（PAN・カルデロン元大統領夫人）が14%、タボアダ・ベニート・フアレス区長（PAN）が10%、クエバス・クアウテモク区長（PRD）が10%の支持を得た。
- 15日、下院は司法府の14件ある信託基金のうち13件を削除する法案を可決した。また、25日、上院は同法案を可決（賛成68票、反対48票）。MORENAの3議員が反対票を投じた。
- 16日、ロペス・オブラドール大統領は、ミゲル・アンヘル・マシエル・トレス氏をエネルギー大臣に指名したと発表した。ナレ前エネルギー大臣は、13日、来年6月のベラクルス州知事選挙に立候補するため辞任した。
- 23日、ヌエボレオン州議会は、ガルシア・ヌエボレオン州知事（市民運動）の休職を承認した。デルガドMC党首は、「ガ」知事は同党の大統領候補となる可能性を示唆。同州議会は、「ガ」州知事の後任にサリナス同州司法長官を指名したが、「ガ」州知事は、司法職員が行政庁の役職を務めることは同州憲法に違反するとし反発した。
- 25日、メキシコ南部ゲレロ州アカプルコ市周辺でハリケーン・オーティスによる被害が発生した。「ロ」大統領はハリケーン上陸後、10月25日夜及び29日の2度、アカプルコ市を訪問した。
- 30日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表した。「ロ」大統領の支持率は、56%（前月比-2ポイント）。
- 31日付当地エル・フィナンシエロ紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表した。シェインバウム氏を肯定的にみていると回答したのは46%、ガルベス上院議員は30%、エブラル氏は26%、ガルシア州知事は19%となった。

## 【外交】

- 5日、バルセナ外相は、大統領府で実施された墨米ハイレベル治安対話に参加した。墨米両国は、2022～2023年の成果を確認するとともに、移民、国民保護、越境犯罪予防及び犯罪網の追跡について、次回までに達成すべき目標を定めた。「バ」外相は、協力及び墨米国民の安全を強化すべく、国境地域の治安、移民会議の開催、組織犯罪との闘い、移民等に関して相互のコミットメントを強調した。
- 8日、メキシコ外務省は、イスラエル・パレスチナ情勢に係るプレスリリースを発出した。翌9日、「ロ」大統領は、定例早朝記者会見において、イスラエル・パレスチナ情勢に関して発言した。それに対して、在メキシコ・イスラエル大使館が同発言に関して「不一致」とする声明を発出した。
- 9日、ロペス・オブラドール大統領は、定例早朝記者会見において、欠席を表明していたAPEC首脳会議に出席する旨を表明した。
- 22日、非正規移民の流入に係るパレンケ会合が開催された。同会合では、中南米地域の移民の構造的な原因について協議し、包括的解決を提示することが目指された。同会合には、中南米関係諸国の首脳等が参加した。

## 【内政】

### 1 大統領支持率等：エル・フィナンシエロ紙世論調査

2日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表したところ、概要以下のとおり。ロペス・オブラドール大統領の支持率は、58%（前月比+1ポイント）。

（9月1～2日、22～23日、全国の有権者900名を対象に電話で調査を実施。誤差±3.3%。）

#### (1) 「ロ」大統領の取組を支持するか。

ア 支持する：58%（前回（9月、以下同じ）57%）

イ 支持しない：41%（前回43%）

#### (2) 各分野における「ロ」政権の取組を如何に評価するか。

##### ア 経済

（ア）とても良い、又は良い：35%（前回36%）

（イ）とても悪い、又は悪い：52%（前回44%）

##### イ 治安対策

（ア）とても良い、又は良い：21%（前回25%）

（イ）とても悪い、又は悪い：67%（前回61%）

##### ウ 汚職対策

（ア）とても良い、又は良い：31%（前回39%）

（イ）とても悪い、又は悪い：47%（前回40%）

エ 社会給付

(ア) とても良い、又は良い：56% (前回52%)

(イ) とても悪い、又は悪い：27% (前回25%)

オ 教育

(ア) とても良い、又は良い：49% (前回46%)

(イ) とても悪い、又は悪い：32% (前回32%)

(3) 大統領に期待される以下の特質について「ロ」大統領を如何に評価するか (とても良い、または良いと回答した割合)。

ア 誠実さ：59% (前回56%)

イ リーダーシップ：53% (前回52%)

ウ 結果を出す能力：43% (前回41%)

(4) 以下の政府インフラ事業に関する意見如何。

ア フェリペ・アンヘレス (メキシコ市新) 空港

(ア) とても良い、又は良い：50% (前回 (7月、以下同じ) 48%)

(イ) とても悪い、又は悪い：32% (前回31%)

イ ドス・ポカス製油所

(ア) とても良い、又は良い：48% (前回60%)

(イ) とても悪い、又は悪い：28% (前回19%)

ウ マヤ鉄道

(ア) とても良い、又は良い：52% (前回51%)

(イ) とても悪い、又は悪い：30% (前回32%)

(5) 最高裁の取組を支持するか。

ア 支持する：54% (前回 (6月、以下同じ) 53%)

イ 支持しない：41% (前回39%)

ウ 分からない：5% (前回8%)

(6) 議会の取組を支持するか。

ア 支持する：48% (前回 (4月、以下同じ) 50%)

イ 支持しない：44% (前回42%)

ウ 分からない：8% (前回8%)

2 2024年大統領選挙に向けた世論調査結果：当地エル・ユニベルサル紙

4日付当地エル・ユニベルサル紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表したところ、右概要以下のとおり。

(9月22～28日に、全国の有権者1,200名に対し訪問で調査を実施。誤差±3.23%)

(1) 本日が大統領選挙投票日であった場合、どの政党及び候補者に投票するか。

- ア ガルベス上院議員 (野党連合) : 20%
- イ シェインバウム氏 (与党連合) : 50%
- ウ ガルシア・ヌエボレオン州知事 (MC) : 7%
- エ ベラステギ氏 (独立候補) : 4%
- オ 無回答 : 19%

(2) 本日が大統領選挙投票日であった場合、どの政党に投票するか。

- ア 国民行動党 (PAN) : 11%
- イ 制度的革命党 (PRI) : 8%
- ウ 民主革命党 (PRD) : 2%
- エ 労働党 (PT) : 2%
- オ 緑の党 (PVEM) : 3%
- カ 市民運動 (MC) 6%
- キ 国民再生運動 (MORENA) : 53%
- ク 無回答 : 15%

(3) 以下の人物について聞いたことがあるか。

- ア シェインバウム氏 : 68%
- イ ガルベス上院議員 : 47%
- ウ ガルシア州知事 : 36%
- エ デルガドMC党首 : 31%
- オ ベラステギ氏 : 30%

(4) 以下の人物についての意見如何。(上記(3)で知っている人と答えた人のみ回答。)

ア シェインバウム氏 : バランス (「とても良い・良い」を「悪い・とても悪い」で引いた数値。以下同じ) + 39

- ・とても良い : 11%
- ・良い : 39%
- ・悪い : 7%
- ・とても悪い : 4%

イ ガルベス上院議員 : バランス - 2

- ・とても良い : 2%
- ・良い : 16%
- ・悪い : 14%
- ・とても悪い : 6%

ウ ガルシア州知事 : バランス + 4

- ・とても良い : 2%
- ・良い : 14%

・悪い：9%

・とても悪い：3%

エ デルガドMC党首：バランス+3

・とても良い：1%

・良い：13%

・悪い：9%

・とても悪い：2%

オ ベラステギ氏：バランス+1

・とても良い：1%

・良い：11%

・悪い：8%

・とても悪い：3%

(5) 以下の政党についての意見如何。

ア PAN：バランス（「とても良い・良い」を「悪い・とても悪い」で引いた数値。

以下同じ）-26

・とても良い：2%

・良い：29%

・悪い：43%

・とても悪い：14%

イ PRI：バランス-42

・とても良い：1%

・良い：23%

・悪い：45%

・とても悪い：21%

ウ PRD：バランス-25

・とても良い：1%

・良い：28%

・悪い：44%

・とても悪い：10%

エ PT：バランス+5

・とても良い：1%

・良い：42%

・悪い：32%

・とても悪い：6%

オ PVEM：バランス+2

・とても良い：1%

・良い：40%

・悪い：31%

・とても悪い：8%

カ MC：バランス+9

・とても良い：2%

・良い：42%

・悪い：31%

・とても悪い：4%

キ MORENA：バランス+57

・とても良い：18%

・良い：57%

・悪い：13%

・とても悪い：5%

(6) もし自分が投票したい候補に投票できない場合、どの人物が第2候補となり得るか。

ア ガルベス上院議員（野党連合）：13%

イ シェインバウム氏（与党連合）：15%

ウ ガルシア・ヌエボレオン州知事（MC）：20%

エ ベラステギ氏（独立候補）：7%

オ 無回答：45%

(7) 次期大統領が有すべき主要な特質は何か。

ア 誠実性：40%

イ 人々の問題を知っている：13%

ウ 責任感：8%

エ 能力：7%

オ 経験：4%

カ 勤勉性：4%

キ チームワーク：4%

ク 謙虚さ：4%

ケ 知識：3%

コ 毅然とした態度：3%

サ 親切：1%

シ 近さ：0%

ス その他：1%

セ 分からない・無回答：4%

(8) 以下の人物の主要な特質は何か。

ア シェインバウム氏

- (ア) 誠実性：12%
- (イ) 勤勉：10%
- (ウ) 能力：9%
- (エ) 知識：8%
- (オ) 人々の問題を知っている：8%
- (カ) 経験：7%
- (キ) チームワーク：6%
- (ク) 信頼できる：5%
- (ケ) 責任感：5%
- (コ) 親切：4%
- (サ) 毅然とした態度：3%
- (シ) 謙虚さ：3%
- (ス) 近さ：1%
- (セ) その他：2%

イ ガルベス上院議員

- (ア) 勤勉：8%
- (イ) 人々の問題を知っている：7%
- (ウ) 経験：6%
- (エ) 誠実性：6%
- (オ) 知識：6%
- (カ) 能力：5%
- (キ) チームワーク：5%
- (ク) 親切：4%
- (ケ) 毅然とした態度：3%
- (コ) 責任感：3%
- (サ) 信頼できる：2%
- (シ) 謙虚：2%
- (ス) 近さ：1%
- (セ) その他：3%

(9) 投票しない人物は誰か。

- ア ガルベス上院議員 (野党連合)：42%
- イ シェインバウム氏 (与党連合)：12%
- ウ ガルシア・ヌエボレオン州知事 (MC)：10%
- エ ベラステギ氏 (独立候補)：15%
- オ 無回答：21%

3 2024年メキシコ市長選挙に向けた世論調査結果：当地エル・ユニベルサル紙  
16日、当地エル・ユニベルサル紙は、2024年メキシコ市長選挙に向けた世論調査結果を発表したところ、右概要以下のとおり。

(10月12～15日に市内有権者1,000名を対象に、訪問調査を実施。誤差±3.53%。)

(1) 以下の人物うち、誰が与党連合のメキシコ市長選挙立候補者として好ましいか。

ア ガルシア氏 (元メキシコ市治安長官)：39%

イ ブルガダ氏 (元イスタパラパ区長)：27%

ウ ロペス・ガテル氏 (元保健次官)：16%

エ ボイ長官 (メキシコ市環境・地域計画長官)：4%

オ どの人物でも良い：0%

カ どの人物も好ましくない：11%

キ 知らない・無回答：3%

(2) 以下の人物について知っているか。

ア ロペス・ガテル氏：72%

イ ガルシア氏：67%

ウ ブルガダ氏：64%

エ ボイ長官：17%

(3) 以下の人物についての意見如何。(上記2で知っている人と答えた人のみ回答。)

ア ガルシア氏：バランス(「良い」を「悪い」で引いた数値。以下同じ) +34

・良い：46%

・普通：5%

・悪い：12%

イ ブルガダ氏：バランス+23

・良い：38%

・普通：6%

・悪い：15%

ウ ロペス・ガテル氏：バランス+12

・良い：36%

・普通：9%

・悪い：24%

エ ボイ長官：バランス-1

・良い：5%

・普通：3%

・悪い：6%

(4) メキシコ市長選挙で以下の人物に投票するか。(上記2で知っている人と答えた人のみ回答。)

ア ガルシア氏

- ・する：46%
- ・しない：20%

イ ブルガダ氏

- ・する：36%
- ・しない：26%

ウ ロペス・ガテル氏

- ・する：29%
- ・しない：43%

エ ボイ氏：

- ・する：4%
- ・しない：12%

(5) 以下の人物うち、誰が野党連合のメキシコ市長選挙立候補者として好ましいか。

ア サバラ下院議員 (PAN・カルデロン元大統領夫人)：14%

イ タボアダ・ベニート・フアレス区長 (PAN)：10%

ウ クエバス・クアウテモク区長 (PRD)：10%

エ デ・ラ・マドリ元観光相 (PRI)：7%

オ リモン・アルバロ・オブregon区長 (PAN)：7%

カ ルバルカバ・クアヒマルパ区長 (PRI)：5%

キ エスピノサ下院議員 (PRD)：1%

ク どの人物でも良い：2%

ケ どの人物も好ましくない：35%

コ 知らない・無回答：9%

(6) 以下の人物について知っているか。

ア サバラ下院議員：68%

イ クエバス区長：59%

ウ デ・ラ・マドリ元観光相：38%

エ タボアダ区長：36%

オ リモン区長：30%

カ ルバルカバ区長：25%

キ エスピノサ下院議員：10%

(7) 以下の人物についての意見如何。(上記(6)で知っている人と答えた人のみ回答。)

ア タボアダ区長：バランス(「良い」を「悪い」で引いた数値。以下同じ) 0

- ・良い：13%

- ・普通：４％
- ・悪い：１３％

イ ルバルカバ区長：バランス０

- ・良い：９％
- ・普通：３％
- ・悪い：９％

ウ エスピノサ下院議員：バランス０

- ・良い：４％
- ・普通：２％
- ・悪い：４％

エ リモン区長：バランス－３

- ・良い：１０％
- ・普通：３％
- ・悪い：１３％

オ デ・ラ・マドリ元観光相：バランス－４

- ・良い：１２％
- ・普通：５％
- ・悪い：１６％

カ サバラ下院議員：バランス－１８

- ・良い：１８％
- ・普通：７％
- ・悪い：３６％

キ クエバス下院議員：バランス－２６

- ・良い：１３％
- ・普通：４％
- ・悪い：３９％

(８) メキシコ市長選挙で以下の人物に投票するか。(上記(６)で知っていると答えた人のみ回答。)

ア サバラ下院議員

- ・する：１５％
- ・しない：５０％

イ タボアダ区長

- ・する：１０％
- ・しない：２５％

ウ クエバス区長

- ・する：１０％

・しない：47%

エ デ・ラ・マドリ元観光相

・する：9%

・しない：28%

オ リモン区長

・する：8%

・しない：21%

カ ルバルカバ区長

・する：7%

・しない：17%

キ エスピノサ下院議員

・する：2%

・しない：8%

#### 4 司法機関信託基金の廃止法案両院で可決

15日、下院は司法府の14件ある信託基金のうち13件を削除する法案を可決した。司法機関の職員はこれに抗議してストライキを実施。25日、上院は同法案を可決（賛成68票、反対48票）。MORENAの3議員が反対票を投じた。

#### 5 エネルギー大臣の指名

16日、ロペス・オブラドール大統領は、Xにおいて、ミゲル・アンヘル・マシエル・トレス氏をエネルギー大臣に指名したと発表した。ナレ前エネルギー大臣は、13日、来年6月のベラクルス州知事選挙に立候補するため辞任した。

#### 6 ガルシア・ヌエボレオン州知事の休職

23日、ヌエボレオン州議会は、ガルシア・ヌエボレオン州知事（市民運動）の休職を承認した。デルガドMC党首は、「ガ」知事は同党の大統領候補となる可能性を示唆。同州議会（PRI、PANが多数を占める）は、「ガ」州知事の後任にサリナス同州司法長官を指名したが、「ガ」州知事は、司法職員が行政庁の役職を務めることは同州憲法に違反するとし反発した。

#### 7 メキシコ南部ハリケーンの発生

25日、メキシコ南部ゲレロ州アカプルコ市周辺でハリケーン・オーティスによる被害が発生した。メキシコ史上最大規模のハリケーン。熱帯性低気圧から12時間でカテゴリー5のハリケーンに急速に発達。ロペス・オブラドール大統領はハリケーン上陸後、10月25日夜及び29日の2度、アカプルコ市を訪問した。

## 8 大統領支持率等：エル・フィナンシエロ紙世論調査

30日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表したところ、概要以下のとおり。ロペス・オブラドール大統領の支持率は、56%（前月比-2ポイント）。

（10月19～25日、27～28日、全国の有権者1,620名を対象に電話及び対面で調査を実施。誤差±2.4%。）

(1) 「ロ」大統領の取組を支持するか。

ア 支持する：56%（前回（10月、以下同じ）58%）

イ 支持しない：43%（前回41%）

(2) 各分野における「ロ」政権の取組を如何に評価するか。

ア 経済

（ア）とても良い、又は良い：36%（前回35%）

（イ）とても悪い、又は悪い：48%（前回52%）

イ 治安対策

（ア）とても良い、又は良い：26%（前回21%）

（イ）とても悪い、又は悪い：60%（前回67%）

ウ 汚職対策

（ア）とても良い、又は良い：33%（前回31%）

（イ）とても悪い、又は悪い：47%（前回47%）

エ 社会給付

（ア）とても良い、又は良い：57%（前回56%）

（イ）とても悪い、又は悪い：23%（前回27%）

(3) ゲレロ州におけるハリケーン災害への対応

ア 「ロ」政権のハリケーン被害への対応をどう評価するか

（ア）とても良い、または良い：39%

（イ）良くも悪くもない：19%

（ウ）とても悪い、または悪い：37%

イ 「ロ」政権のハリケーン被害の予防策をどう評価するか

（ア）とても良い、または良い：28%

（イ）良くも悪くもない：15%

（ウ）とても悪い、または悪い：51%

ウ 「ロ」政権のハリケーン被害者への支援をどう評価するか

（ア）とても良い、または良い：43%

（イ）良くも悪くもない：15%

（ウ）とても悪い、または悪い：39%

- (4) ゲレロ州におけるハリケーン災害に係る市民の連帯
- ア 被災者への食料や援助の送付を実施または検討したか
- (ア) 実施した：16%
  - (イ) 検討している：35%
  - (ウ) 実施も検討もしていない：47%
- イ 金銭的な寄付を実施または検討したか
- (ア) 実施した：8%
  - (イ) 検討している：22%
  - (ウ) 実施も検討もしていない：68%

9 2024年大統領選挙に向けた世論調査結果：当地エル・フィナンシエロ紙

31日、当地エル・フィナンシエロ紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表したところ、右概要以下のとおり。

(10月19～25日、27～28日、全国の有権者1,620名を対象に電話及び対面で調査を実施。誤差±2.4%。)

(1) 2024年の大統領選挙における候補が以下の人物であった場合誰に投票するか。

ア 市民運動(MC)の候補がガルシア・ヌエボレオン州知事であった場合

- (ア) ガルベス上院議員(野党連合(PAN、PRI、PRD))：28%
- (イ) ガルシア・ヌエボレオン州知事(MC)：8%
- (ウ) シェインバウム氏(与党連合(MORENA、PVEM、PT))：46%
- (エ 未定：18%)

イ 市民運動(MC)の候補がエブラル氏であった場合

- (ア) ガルベス上院議員(野党連合(PAN、PRI、PRD))：27%
- (イ) エブラル氏(MC)：9%
- (ウ) シェインバウム氏(与党連合(MORENA、PVEM、PT))：46%
- (エ 未定：18%)

(2) 以下の候補者についてどう評価するか

ア シェインバウム氏

- ・肯定的：46%
- ・否定的：30%
- ・中立的：17%
- ・同候補者を知らない：7%

イ ガルベス上院議員

- ・肯定的：30%
- ・否定的：42%
- ・中立的：16%

・同候補者を知らない：12%

ウ エブラル氏

・肯定的：26%

・否定的：38%

・中立的：26%

・同候補者を知らない：10%

エ ガルシア・ヌエボレオン州知事

・肯定的：19%

・否定的：39%

・中立的：20%

・同候補者を知らない：22%

(3) 2024年の大統領選挙についてどう考えるか。

ア MORENAが容易に勝利する：23%

イ MORENAが勝利するが接戦になる：24%

ウ 野党が勝利する：18%

エ 誰が勝利するかは分からない：29%

(4) 今日連邦議会選挙があった場合、どの党に投票するか

ア 党ごと

(ア) PAN：17%

(イ) PRI：10%

(ウ) PRD：2%

(エ) PVEM：1%

(オ) PT：2%

(カ) MC：5%

(キ) MORENA：42%

(ク) 未定：19%

イ 連合ごと

(ア) 野党連合 (PAN、PRI、PRD)：29%

(イ) 与党連合 (MORENA、PVEM、PT)：45%

(ウ) MC：5%

(エ) 未定：19%

## 【外政】

### 1 第三回墨米ハイレベル治安対話 (DANS)

5日、バルセナ外相は、大統領府で実施された墨米ハイレベル治安対話に参加したところ、同日付外務省プレスリリースによれば、右概要以下のとおり。

(1) バルセナ外相の冒頭発言

ア 墨米両国及び北米地域の人々に裨益する「200周年了解」の下、以下の点について両国の治安協力を深化させる。

- (ア) 移民分野における協力。
- (イ) 合成麻薬と闘うメキシコのコミットメント。
- (ウ) 米国からの銃器密輸との闘いの推進。
- (エ) 治安強化のための国境インフラへの投資。
- (オ) 北米に優位性をもたらす地政学的文脈の活用。
- (カ) 入国ゲートの近代化事業。
- (キ) 国民の安全を確保するための緊密な連携。
- (ク) 現在の犯罪構造の固有のリスク等への対処。

イ ブリンケン米務長官出席のもと本会合が実施されたことは意義がある。

(2) 共同記者会見概要

ア 墨米両国は、2022～2023年の成果を確認するとともに、移民、国民保護、越境犯罪予防及び犯罪網の追跡について、次回までに達成すべき目標を定めた。

イ 「バ」外相は、協力及び墨米国民の安全を強化すべく、以下の相互のコミットメントを強調。

- (ア) 150億ペソを投資し、メキシコ側国境の治安を強化。
- (イ) 安全で、秩序ある、正規の移動のための相互措置を検討。
- (ウ) 「ロ」大統領主催による地域の11か国との移民に関する会議を提案。
- (エ) 人身取引網解体のための協調。
- (オ) 米国に非正規に滞在する数百万人のメキシコ人への考慮。
- (カ) フェンタニル等合成麻薬の密輸、使用等に係る協力へのメキシコのコミットメント。
- (キ) 海軍省提案による化学物質原料の追跡のための国際的協力。
- (ク) 銃器密輸に対する闘い及びコミットメント。
- (ケ) 経済貿易能力向上のための協力。

## 2 イスラエル・パレスチナ情勢

(1) 8日、メキシコ外務省は、イスラエル・パレスチナ情勢に係るプレスリリースを発売したところ、概要以下のとおり。

ア メキシコ政府は、イスラエル・パレスチナ情勢を注視しており、10月7日にガザ地区においてハマス及び他のパレスチナの組織によって行われたイスラエルの人々への不条理な攻撃を明白に非難する。

イ 全てのテロ行為は、国際の平和と安全への脅威であり、どのような理由もテロを正当化できない。

ウ メキシコは、イスラエルの正当防衛の権利を認識しているが、それは国際法に定められた条件に従わなければならない。また、誰であろうと、特に民間人を標的にした場合は、明らかな国際人道法違反であり、この武力行使を非難する。

エ メキシコは、イスラエル・パレスチナ間で暴力が急増し、数百人の死者、人質、及び多くの負傷者が出ていることを極めて憂慮している。

オ 同地域における紛争の根本的解決に向けた交渉再開が緊急に必要である。

カ 国連決議に基づき、安全且つ国際的に認められた国境内で両国が共存するため、イスラエルが安全保障上の正当な懸念に対処し、且つパレスチナが政治的・経済的に存続可能な形で国家を確固たるものにするという前提のもと、包括的且つ最終的な解決策がとられることを、メキシコは支持する。

キ 和平プロセス再開の責任は、疑いなく紛争当事国に課されているが、公正で持続可能な平和促進に向けた政治プロセスは国際社会及び国連にかかっている。

ク メキシコ政府は、紛争の平和的解決及び憲法の原則を忠実に守り、相互の尊重及び国際法遵守に基づき、地域に永続的な平和を確立するための取組に参加する用意がある。

(2) 9日、「ロ」大統領は、定例早朝記者会見において、イスラエル・パレスチナ情勢に関して発言したところ、概要以下アのとおり。同日、在メキシコ・イスラエル大使館が同発言に関する声明を発出したところ、概要以下イのとおり。

ア ロペス・オブラドール大統領の発言

(ア) 我々は、平和を支持する。暴力に訴えるべきではない。

(イ) 外交に関する憲法の定めは明確であり、不干渉、民族自決、開発協力、及び紛争の平和的解決が我々の立場である。

(ウ) 我々は、パレスチナ人及びイスラエル人の対立を大変遺憾に思う。両国は、和平を模索していない。対話及び平和的解決を呼びかけるため、全ての加盟国が参加する国連総会を開催すべきである。

(エ) (パレスチナの歴史的な主張についてのメキシコの立場如何、との質問に対し、) 我々は、平和的解決を目指すため、いずれかを支持することはしたくない。

(オ) ウクライナ・ロシアの件と同様に、我々は対話を呼びかけ続ける。

イ 在メキシコ・イスラエル大使館の声明

(ア) 在メキシコ・イスラエル大使館は、9日の「ロ」大統領の出来事に関する発言に対して、同意しない (inconformidad) 旨表明する。

(イ) メキシコ政府がテロ組織ハマスによる野蛮な行為を強く非難する立場をとるのであれば、評価する。

(ウ) 我々は、メキシコ政府が現状に対してより強く断固とした立場をとらなかったことを大変遺憾に思う。歴史が繰り返し示しているように、片方を支持せずに中立の立場を維持することは、テロを支持することを意味する。

### 3 ロペス・オブラドール大統領のA P E C首脳会議出席

9日、ロペス・オブラドール大統領は、定例早朝記者会見において、欠席を表明していたA P E C首脳会議に出席する旨を表明した。「ロ」大統領は、11月2日～4日のワシントン（米州首脳会議のフォローアップ会議）とサンフランシスコ（A P E C首脳会議）の二つの選択肢があったが、経済貿易関係のために重要であり、アジア太平洋の会議であるサンフランシスコ（A P E C首脳会議）を選んだと述べた。

### 4 移民に関するパレンケ会合

22日、非正規移民の流入に係るパレンケ会合が開催されたところ、外務省プレスリリース概要以下のとおり。

（1）チアパス州パレンケにおいて、ロペス・オブラドール大統領主催のもと、中南米地域の移民の構造的原因について協議し、包括的解決を提示するため、パレンケ会合が実施された。同会合には、カストロ・ホンジュラス大統領、ペトロ・コロンビア大統領、ディアスカネル・キューバ大統領、マドゥロ・ベネズエラ大統領、アンリ・ハイチ首相、ウリョア・エルサルバドル副大統領、ムニベ・コスタリカ副大統領、ハイド・ベリーズ副首相、テワニー・パナマ外相、及びアレバロ・次期グアテマラ大統領代表団が参加した。

（2）同会合において、移民の流れは、各国における貧困、不平等、治安の悪さ、並びに労働の機会及び経済的機会の不足から生じていることで一致した。一方、気候変動、並びに一方的な強制措置、制裁、及び対外債務の過剰な利息等の外政要因が各国の開発に影響を与え、非正規移民を助長していることが強調された。